

5－6．御幸通り沿道エリア

1. 現況と課題

様々な界わい*1との隣接

静岡駅、新静岡駅、呉服町通り、七間町通り、北街道、浅間通り、駿府城跡など様々な界わいと隣接しています。



七間町通りとの隣接



駿府城跡との隣接

沿道の多様な用途

沿道は比較的大規模な建物が立ち並び、駅側から商業施設、業務施設、官公庁施設と様々な用途で形成されています。



官公庁施設



大規模な業務施設

交通結節点*2との近接

静岡駅の正面に位置する通りであり、新静岡駅とも近接しています。また、バス停も通りの中に数箇所配置されています。



沿道のバス停



静岡駅の正面に位置



歩行動線の分断

国道1号、江川町、中町の主要な交差点は地下道で接続し、通りは広幅員のため、横断方向の歩行者の円滑な移動の障害となっています。



江川町の交差点



中町の地下道

歴史や緑を感じづらい街路空間

沿道の歴史的建造物、駿府城跡、浅間通りなど、静岡の歴史的な要素が点在していますが、空間にゆとりがなく、それが感じづらい状況です。



浅間通りとの分断



ゆとりのない駿府城跡堀沿い

沿道への空き店舗や駐車場の点在

沿道には、空き店舗や駐車場が点在しており、店舗等の連続性が途切れていることで、歩いて楽しい通りの魅力が薄れてしまっています。



空き店舗の点在



通りに面した駐車場

*1界わい：特徴のあるまとまった区域

*2交通結節点：電車、バス、タクシーなど、異なる交通手段への乗り換えができる拠点(静岡駅、新静岡駅など)

2. エリアの強み・弱み／まちづくりの着眼点

エリアの現状から、これからのまちづくりを進めるにあたっての強みと弱み、このエリアのまちづくりの着眼点を整理します。

強み

- **界わい^{*1}との隣接**
静岡駅、新静岡駅、呉服町通り、七間町通り、北街道、浅間通り、駿府城跡など、多くの界わいと隣接しています。
- **歴史・文化的要素の点在**
駿府城跡や静岡市役所本館や静岡県庁本館など、静岡の歴史・文化的要素が点在している通りです。
- **沿道の多様な用途**
静岡駅側には商業機能が多く、江川町交差点あたりで業務機能、官公庁、お堀を超えたあたりから、文教厚生施設が立地しており、様々な用途で沿道が形成されています。
- **交通結節点^{*2}との近接**
静岡駅、新静岡駅2つの交通結節点と近接し、両者をつなぐ動線として機能しています。また、両者に向かうバスの停留所が通りの中に複数あります。

弱み

- **歩行動線の分断**
地下道や広幅員の道路が歩行動線を分断し、界わい間の円滑な歩行移動の障害となっています。
- **歴史や緑を感じづらい街路空間**
街路や屋外空間にゆとりがなく、活用や滞留がしにくい状態となっているため、点在する歴史・文化的要素やお堀の自然を感じづらくなっています。
- **テナントの入れ替わり**
テナントの入れ替わりが多く、空き店舗が点在する状況となっています。
- **沿道敷地の駐車場利用**
駅から離れたエリアを中心に、沿道に駐車場が立地し、歩道も狭いため、歩行者の回遊性を高めるまちなみや歩行空間としての更なる魅力向上が望まれます。

まちづくりの着眼点

- 主要な交差点は地下道で接続し、車道も広幅員であることから歩行動線の障害となってしまっています。これらを改善し、まちなかの様々な界わいを**分断するのではなくつなぐ通り**とし、回遊性に寄与することが重要です。
- 沿道の駿府城跡や歴史的な建造物、中町交差点を介して浅間通りと接続していることなど、点在している**静岡の歴史・文化的要素、また駿府城公園の緑や水も活かした、風格のある街路空間**が求められます。
- 静岡駅の目抜き通りとして通り全体の街並みルールが求められます。また、歩行者が滞在・交流したくなる機能誘導や通りに面した民地と一体的な道路、公共空間の創出が不可欠です。

^{*1}界わい：特徴のあるまとまった区域

^{*2}交通結節点：電車、バス、タクシーなど、異なる交通手段への乗り換えができる拠点(静岡駅、新静岡駅など)

3.空間特性・歩行者行動から見た特徴

- 区間によって通り道としてのわかりやすさに差があり、全体が一体的な通りとして感じられるデザインが重要です。
- 東西の歩道で人通りの量に差が見られ、まち全体での回遊を生むためには、御幸通りを渡り東西の行き来を活発にする空間づくりが必要です。
- 官公庁など様々な施設が立地していますが、駅からの移動経路としては定着しておらず、立ち止まって過ごす姿もほとんど見られないため、滞留できる空間を充実させ、主要経路の一つと感じられる整備が求められます。



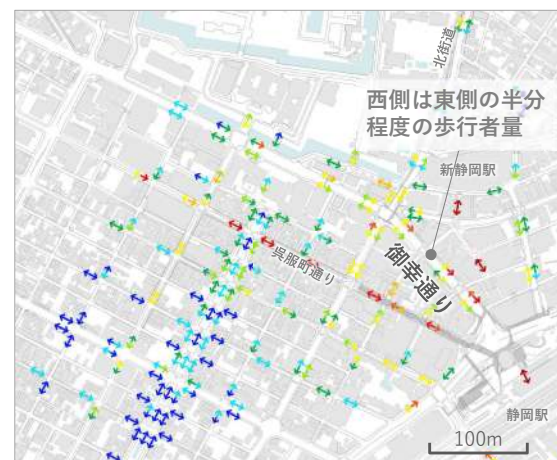
- 江川町交差点でつながりのわかりやすさに差が表れています。
- 御幸通りに接続する通りのうち、呉服町通り、新静岡駅、青葉通りなどつながる動線との認知が弱い傾向があります。

道のつながりが分かります



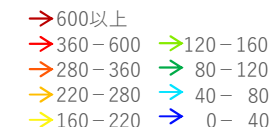
道のつながりが分かりにくい

「見つけやすさ・わかりやすさ」

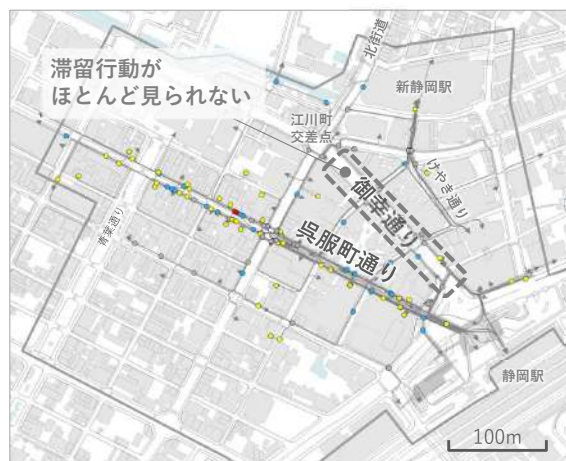


- 東側と西側の歩道で歩行者量の違いが見られ、西側の歩道は東側の半分程度の歩行者量となっています。

通行量（人/時間）



人通り（通行量）（平日）



- 歩行動線として選択されにくく、呉服町通りやその他のエリアに比べ、御幸通りでは滞留行動がほとんど見られません。

滞留状況

○ 座っている △ 立っている

行動

- 話している
- 飲食している
- 楽しむ（買い物/遊び/写真撮影など）
- 休憩（荷物整理/居眠りなど）
- 道に迷っている様子
- 喫煙
- その他（信号待ち/スマホ など）

立っている・座っている様子（滞留行動）



- 静岡駅周辺では物販、飲食など商業機能が強く、江川町交差点から中町交差点まではサービス機能、また官公庁が集まっています。

店舗種類の傾向

- 物販・飲食（同等）
- 物販
- 飲食
- サービス
- どれも少ない

「店舗の種類」の分布傾向

4. まちづくりの基本的考え方

第4章で示した「10の方策」における、このエリアで特に重要な位置づけを以下の視点から整理します。

- 駿府城跡までつながる静岡駅の目抜き通りとして緑化を推進し静岡の顔にふさわしい街路空間を目指します。
- 駿府城の堀や駿府御用水、静岡市役所本館、静岡県庁本館などの歴史的な資源を尊重し活かした空間を創出します。



地域の誇りと愛着を育む緑環境・景観づくり

- 駅から離れた浅間神社界わいや駿府城公園、また市域北側への公共交通動線の主軸として位置付けます。
- バス停は案内機能の充実や隣接してシェアサイクルポート^{*2}を設けるなど、市内回遊を促す整備を検討します。



まちなかの移動手段の多様化

- 国道1号、江川町交差点、中町交差点の地下道横断の改善、道路幅員の見直しなどによって歩行者の移動を円滑化し、まちなかの回遊性を向上させることで、多様な界わい^{*1}をつなぐ通りとなることを目指します。



訪れたくなる界わいの形成とそのつながり強化

- 駿府城公園と静岡駅をつなぐ目抜き通りとして、風格ある街並み形成と滞在・交流できる空間づくりに向けたまちなみルールを検討します。
- 建物1階の壁面後退による民地内の歩行者に開かれた空間と道路の一体的な空間づくりを進め、風格のある通りを目指します。



多様な店舗の連なりと人が心地良く感じる街並みの継承

^{*1}界わい：特徴のあるまとまった区域

^{*2}シェアサイクルポート：シェアサイクルの貸し借りをするための専用の場所

5.まちづくりの方針

周囲の界わい*1をつなぐ歩行者動線の強化と、 目抜き通りにふさわしい風格ある景観形成

界わい間の往来を活性化させる道路空間の再編

- 交差点地下道のあり方検討とそれに伴う交差点の地上横断化、道路空間の再配分*2等によって道路による歩行動線の分断を解消し、両側歩道の往来の活発化を目指します。
- 路線バス停とシェアサイクルの連携など公共交通の利便性を高め、徒歩以外でのまちなか移動も推進します。

歴史・文化的資源を活かした街路空間デザイン

- 駿府城のお堀や駿府御用水などを活用した親水空間を創出します。
- 沿道の歴史的建造物に対する視点場ともなる滞留空間の充実を図ります。
- 浅間通りや駿府城公園とのつながりを強化する街路空間を検討します。

沿道建物と一体となった風格のある景観形成

- 今後の沿道建物の建替えに備え、おまちの歴史や文化を感じ重要な街路にふさわしい街並みルールを検討します。
- 建物の壁面位置の指定、公共空間の作り方などのルールを定め、沿道建物と道路空間が一体となって、おまちの風格を感じるここにしかない景観を目指します。

目抜き通りにふさわしい多様な交流機会を生む機能誘導や場づくり

- 魅力的で多様な交流や活動を生む土地利用や広域から人を集める高次な都市機能の誘導を検討し、静岡市の玄関口である静岡駅の目抜き通りとしてより良いまちの印象をつくり、また訪れたくなる気持ちを醸成します。
- 場所に応じて沿道建物の用途が様々であることを特徴の一つと捉えて空間づくりを進めます。

*1界わい：特徴のあるまとまった区域

*2道路空間の再配分：道路の幅を、車道・歩道・自転車道・緑地などに割り振り直すこと

6. ゾーン設定及び空間テーマ

周辺の土地利用等を踏まえ、下図に示す区分、空間テーマに沿って空間づくりを推進します。

ゾーンの
コンセプト

おまち周辺エリアへ回遊をつなぐゾーン

おまちな歴史や文化に触れるゾーン

まちの印象をつくるゾーン

現在の
周辺土地利用等

- 沿道建物の機能は塾や病院等のサービス施設が多い
- 建物前面の空地の利用のほとんどが駐車場利用
- バス停がある

- 沿道建物は行政機能、業務機能などが集中している
- バス停がある

- 沿道建物は他のゾーンに比べ、商業機能が集中している
- 沿道で再開発が進められている
- 地下出入口、アーケードがある
- バス停がある

横断する
周辺施設との関係

- 浅間通りの入口と隣接
- 茶町と近接
- お堀や大鳥居の存在を感じづらい
- 中町交差点の横断が地下道

- 駿府城のお堀に面している
- 歴史的な建造物が沿道にある
- 七間町通りと接続している
- 江川町交差点の横断の一部や、玄南通りの横断が地下道

- 呉服町通りや新静岡駅につながる肋骨道路^{*1}と接続している
- 駅とまちなかをつなぐ主要な歩行者経路が地下道のため、動線が分かりにくくなっている

空間
テーマ

- 沿道と一体となった、豊かでゆとりのある、心地よい街路空間
- 浅間通りや駿府城公園、市域北側など、おまちエリアの範囲を超えたまちなか回遊を促す空間

- お堀の水辺や石垣の景観を楽しみおまちな歴史や文化を歩きながら感じられる街路空間
- まとまった広場的空間でおまちな活動を促し、広めることができる空間

- 人々の交流や活動が周辺にも広がり、歩きたくなる街路空間
- 建物のデザインや形態に特に配慮し、道路のデザインも洗練された風格のある空間

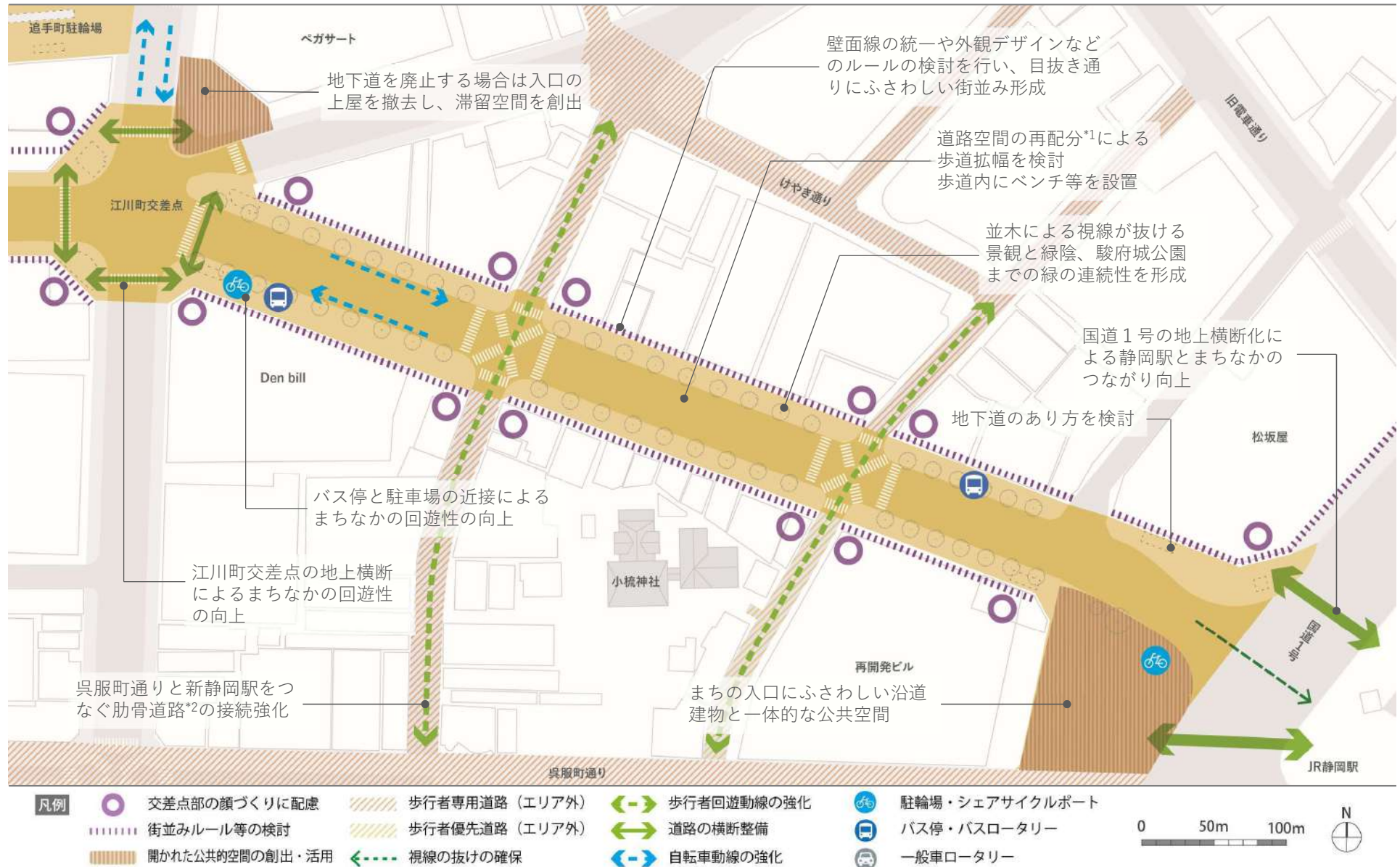
^{*1}肋骨道路：主要な通り同士をつなぐ細い道(ここでは、両替町通りとけやき通りをつなぐ2本の通りの通称)

7-1.空間づくりの方針

エリア共通の方針

- 沿道建物と一体的となった公共空間の創出
- バスや自転車の利便性を向上させる空間づくり

- 歴史や文化的資源を活かした滞留空間の創出
- 沿道建物の壁面線の協議・調整・誘導



^{*1}道路空間の再配分：道路の幅を、車道・歩道・自転車道・緑地などに割り振り直すこと

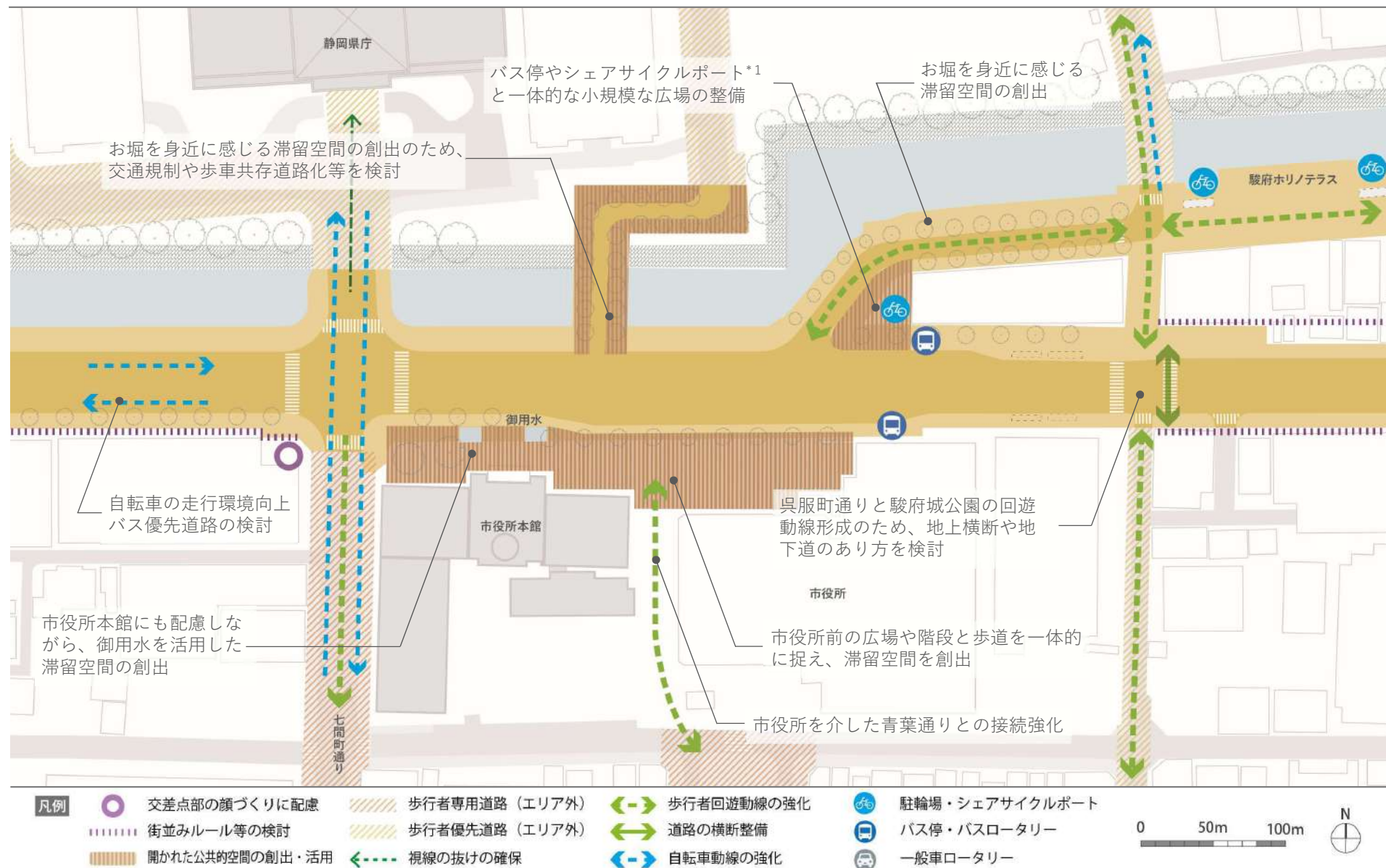
^{*2}肋骨道路：主要な通り同士をつなぐ細い道（ここでは、両替町通りとけやき通りをつなぐ2本の通りの通称）

7-1.空間づくりの方針

エリア共通の方針

- ・沿道建物と一体的となった公共空間の創出
- ・バスや自転車の利便性を向上させる空間づくり

- ・歴史や文化的資源を活かした滞留空間の創出
- ・沿道建物の壁面線の協議・調整・誘導



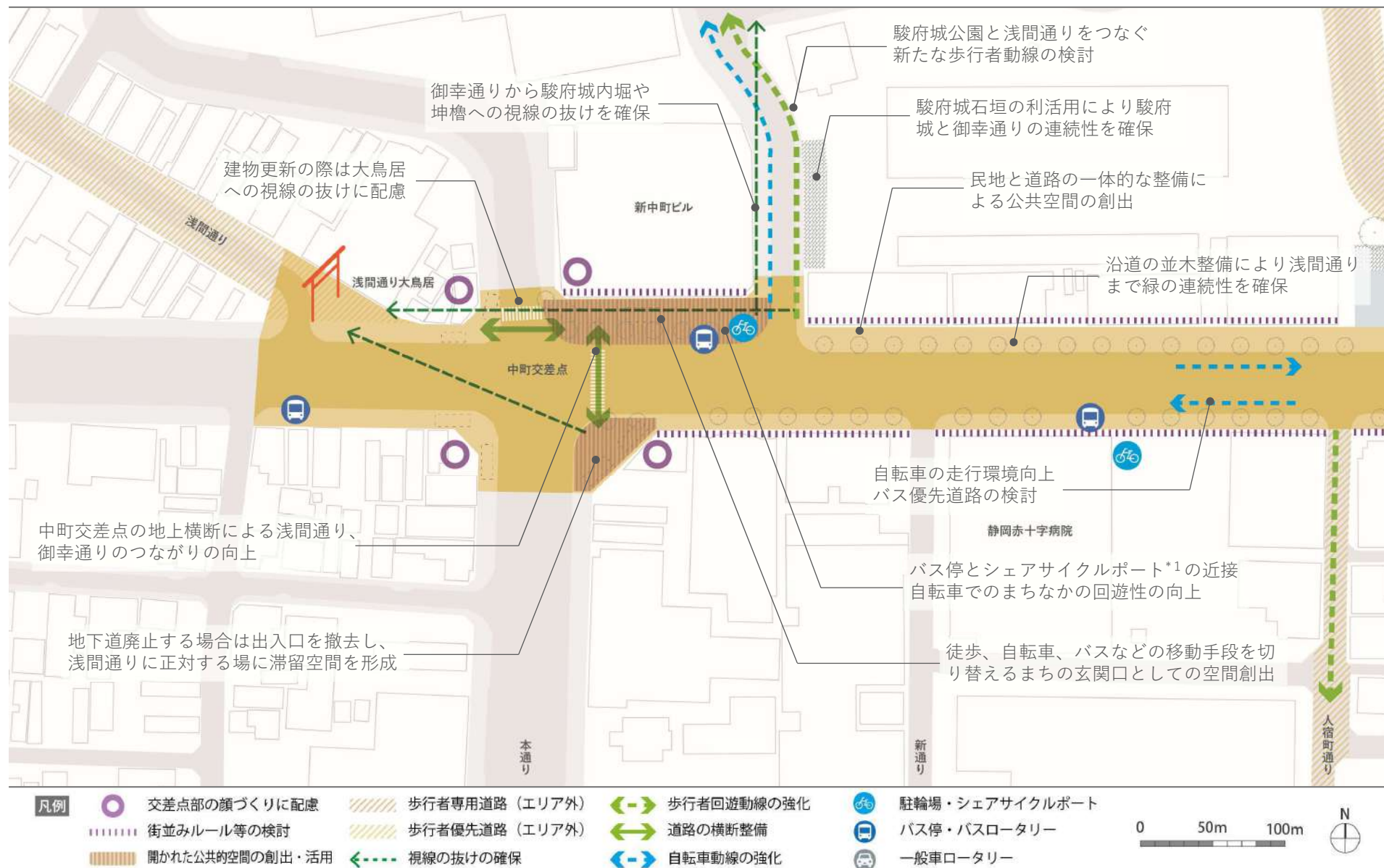
*1シェアサイクルポート：シェアサイクルの貸し借りをするための専用の場所

7-1.空間づくりの方針

エリア共通の方針

- ・沿道建物と一体的となった公共空間の創出
- ・バスや自転車の利便性を向上させる空間づくり

- ・歴史や文化的資源を活かした滞留空間の創出
- ・沿道建物の壁面線の協議・調整・誘導

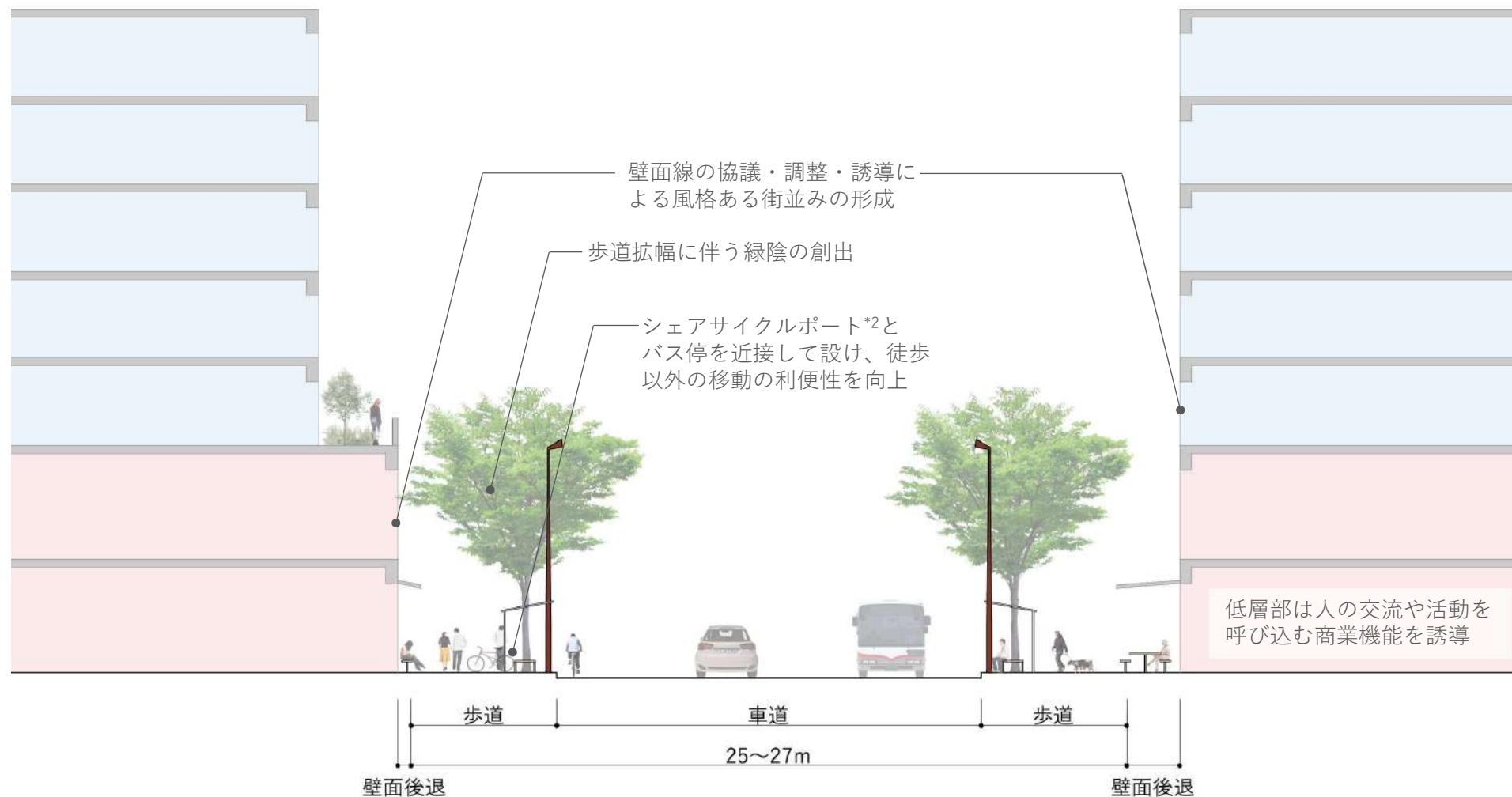


*1シェアサイクルポート：シェアサイクルの
貸し借りをするための専用の場所

7-2.空間づくりの方針

まちの印象をつくるゾーン

- 壁面線の協議・調整・誘導や並木による緑の連続、街路整備等によって風格のある街並みを形成し、広域から人を集める高次都市施設^{*1}（商業、業務等）を誘導することで、静岡駅の目抜き通りにふさわしい、静岡の活力を感じられる街路空間を目指します。



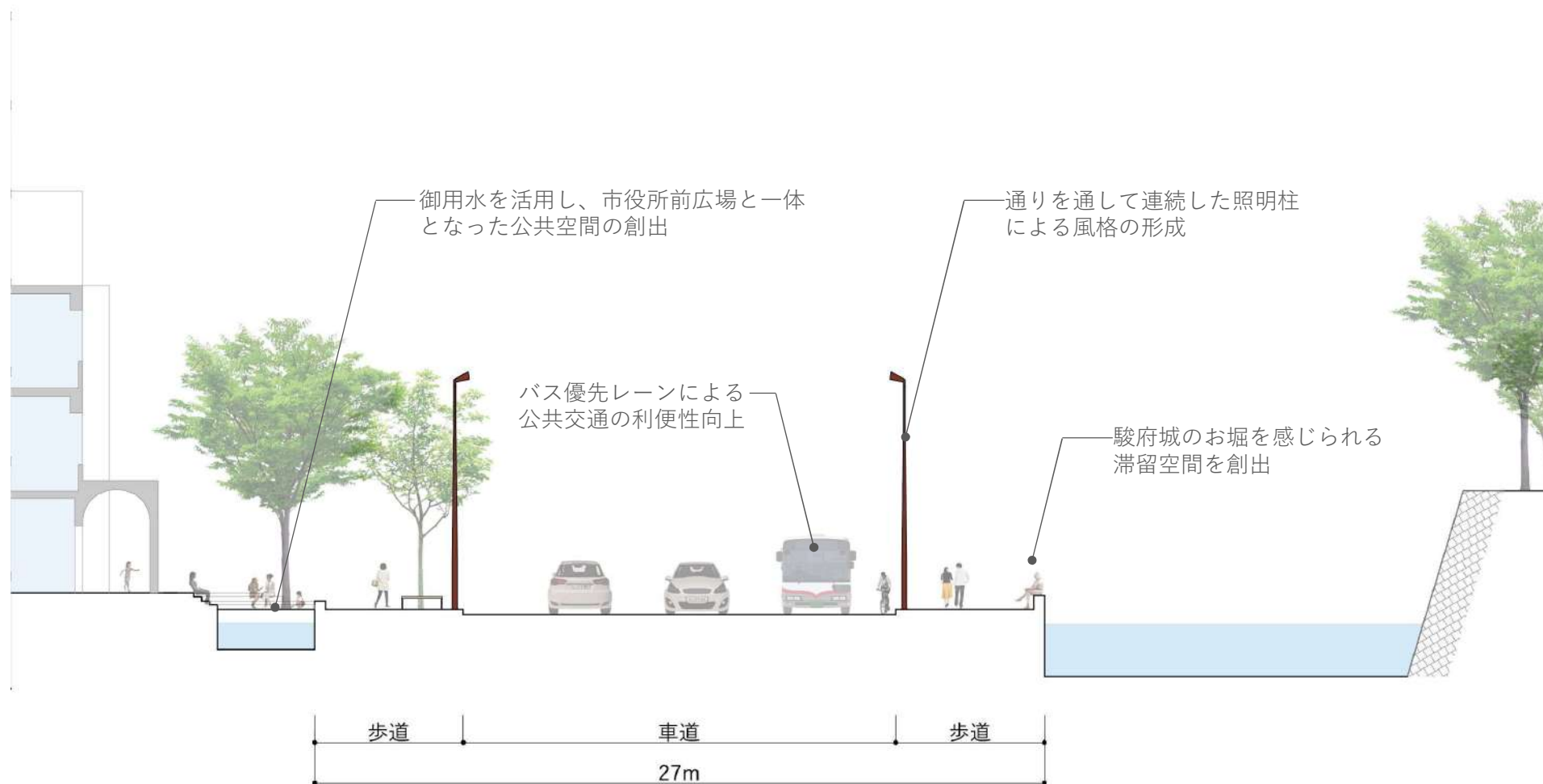
^{*1}高次都市施設：日常生活の圏域を越えた広範な地域の多くの人々を対象に、質の高いサービスを提供する機能

^{*2}シェアサイクルポート：シェアサイクルの貸し借りをするための専用の場所

7-2.空間づくりの方針

おまちの歴史や文化に触れるゾーン

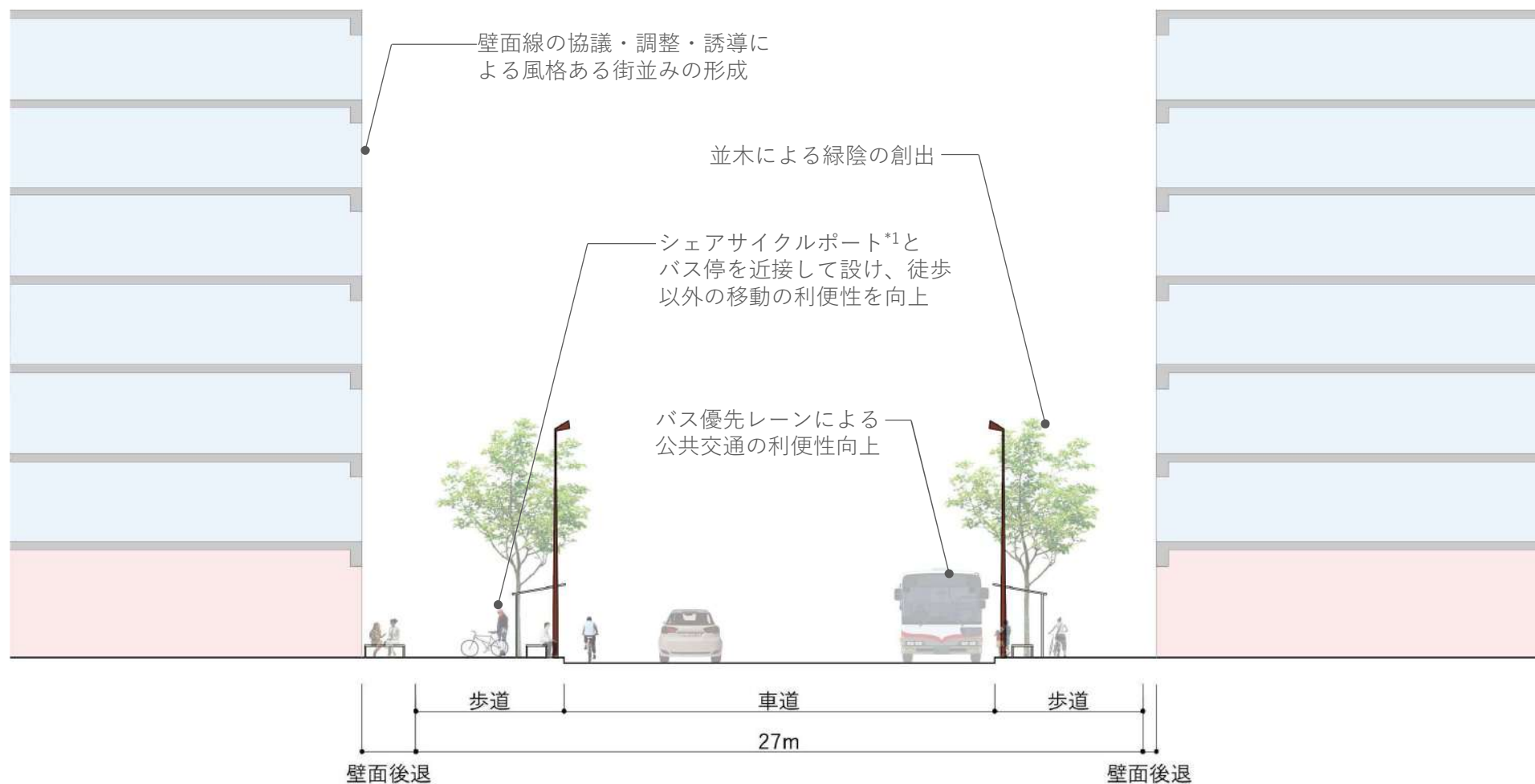
- 駿府城のお堀や御用水を活かした親水空間の形成や、歴史的建造物等を踏まえた公共空間のデザイン等により、おまちの歴史や文化を感じられる滞留空間を創出します。



7-2.空間づくりの方針

おまち周辺エリアへ回遊をつなぐゾーン

- 地下道のあり方の検討にあわせた地上横断や新しい歩行者動線の確保、民地と道路の一体的な空間づくりによって、豊かでゆとりある街路空間を創出し、おまち周辺エリアへ回遊をつなぎます。



*1シェアサイクルポート：シェアサイクルの貸し借りをするための専用の場所

7-3.空間づくりの方針

高度利用を通じて、風格ある目抜き通りの街路景観を形成

高層部は業務機能等を誘導

バス停と近接してシェアサイクルポート*1を設け、公共交通の利便性を向上



大きな開発の場合、まちの回遊性向上のため、建物内の通り抜けを検討

壁面後退した空間を利用し、通りに面して交流や活動を生む機能を導入

建物の角は見通しや人の動線を確保できる形状を検討

並木で通りの風格を創出

公共交通専用レーンを設け公共交通の利便性を向上

*1シェアサイクルポート：シェアサイクルの貸し借りをするための専用の場所

8. 将来像

周囲の界わい^{*1}をつなぐ歩行者動線の強化と、
目抜き通りにふさわしい風格ある景観形成



^{*1}界わい：特徴のあるまとまった区域